

名戸ヶ谷ビオトープだより

第 72 号 2018 年冬号

<http://nadogaya-biotope.org/>

名戸ヶ谷ビオトープを育てる会 発行

発行責任者：篠崎 将 Tel/Fax 04-7173-6353

第 16 回定期総会開催



会長の挨拶で総会が始まりました



総会での議案の真剣な審議

ビオトープを育てる会も発足してまる 15 年が経過し、1 月 27 日（土）「名戸ヶ谷ビオトープを育てる会」第 16 回定期総会を名戸ヶ谷ふるさとセンターで開催しました。

今年の冬は寒さが厳しく雪も降ってなかなか解けない状況の中で、出席者が 16 名（委任状 15 名）と例年より少なくなりましたが、環境政策課より 3 名の出席をいただきました。篠崎会長の挨拶で始まり、議案では、全般・稲作・生きもの・植物・広報について 2017 年の報告と 2018 年の計画の審議があり、拍手で承認されました。また会計の決算・監査報告、予算案の審議においても全員の拍手で承認され無事終了しました。

第 2 部では、今回初めて出席者全員による「ビオトープの将来像」についての意見交換会を行いました。会員確保、高齢化、湧水量の減少、作業量の削減案等屈託のない多くの意見があり、今後に反映していくこととなります。

総会、意見交換会終了後、昼食会形式での懇親会が行われました。都合で一部退席される方もいましたが有意義で楽しい時間を過ごしました。今年も名戸ヶ谷小学校 5 年生の田植えから稲作学習参加予定で、観察会の支援等についても楽しい活動を目指して皆さんの応援をお願いします。（小笠原 智）

意見交換会「名戸ヶ谷ビオトープの将来像について」

1月27日総会終了後の第2部（11時～）約1時間にわたり「名戸ヶ谷ビオトープの将来像について」の意見交換会を行いました。司会者（藤平）から現在「名戸ヶ谷ビオトープを育てる会」が抱えている問題点①会員数の減少、②会員の高齢化、③湧水量の減少、④田んぼの休耕等を提起し、続いて会員からの発言を求めて16名から貴重な意見があり、以下要約します。

【会員募集】

- ・各町会の掲示板への案内PR、入会案内等の回覧
- ・若い会員を呼び込める様に準備、体制作り
- ・会員に女性が6割は必要

【稲作活動】

- ・田んぼが深く大変な体力で入会した人も退会している
- ・一般の田んぼの様に浅く出来ないか、底上げすると生態系が変わる懸念
- ・水田を維持するのが一番大変で減反は仕方ない

【一般活動】

- ・楽しく女性が参加出来る活動内容を考える
- ・親子で楽しめるイベントを考える。お手玉作り、案山子づくり等
- ・一般のサラリーマンが出来る内容を検討する
- ・下田の杜では活動日に食材を持ち寄り食事会の実施
- ・新入会員の気持ちで活動内容、サポート体制を考える

【設備等】

- ・用具保管、着替え、洗い場、休息できる場所の確保充実

【その他】

- ・対策、ビジョンは会で考えて柏市へ協力をお願いする
- ・柏市へビオトープの今後の方針について検討をお願いしたい

【柏市環境政策課より】

・市の自然保護はこのビオトープをモデルとして考えている。市の直営は無理で協力体制をしっかりとっていく

今回初めての試みであり、大変有意義なものとなりました。皆さんの意見を検討し、今後の活動に反映させて行きたいと思います。大変ありがとうございました。（藤平 三郎）



ビオトープの蛙たち

我がビオトープには多種類の蛙達が生息しております。それら蛙たちを紹介しましょう。(篠崎 将)



ニホンアカガエル

本州～九州、四国の一部の水田や湿地に生息する。体長は 4～7cm。背面は褐色又は赤褐色だが個体差が大きい。背面は無斑紋、低い皮膚隆起を囲んで不明瞭な黒褐色斑あり、頭色斑あり、頸部側面には黒斑がある。1～3 月球形の卵塊を水溜まりに 500～3,000 個を産む。



トウキョウダルマガエル (環境省絶滅危惧種)

本州、四国に分布し、日本固有種であり、平地、水田、浅い池等に産卵。雄 3.5～7.5cm、雌 4～8.5cm トノサマガエルに似ているが、黒斑が丸い。単独で生活し、昆虫、蜘蛛類、カエル等食す。年数回産卵し、一度に 800～2,200 個を産む。地色より暗色の斑紋が現れる。



アズマヒキガエル

本州、四国、九州に分布し、体長は 8～12cm、体色は変化に富むが、一般に黄褐色又は暗褐色で、胴体と四肢の側面に黒褐色の不規則斑がある。耳腺は明瞭で長い。2～3 月にひも状の卵塊を産む。卵の大きさは径 2～3mm で変態直後は体長約 10mm。



アマガエル

日本全土と朝鮮半島に分布し、浅い池や水田に生息し、体長 2.5～4cm、背面は環境により変化し、黄緑色、緑色、灰褐色になり、地色より暗色の斑紋が現れる。この斑紋は頭、胴部では不規則で、四肢では黄帯になる。目の前後では黒色帯斑紋が明瞭である。産卵は 5～6 月で、池や水田。少数の卵からなる不定形の卵塊を水草などに着ける。



シュレーゲルアオガエル

本州～九州にかけて分布し、日本固有種、平地～低山地の水田、高地の湿原に生息、水際の土の窪みに産卵する。雄 3～4cm、雌 4～5.5cm、体色は緑色で、雄はのどが黒色で虹彩は金色。単独で生活、樹上で行動する。冬眠する。昆虫類を食し、一回に 100～660 個産卵する。



ウシガエル (特定外来生物)

北海道南部より日本全国に分布し、平地～低山地の水田、高地の湿原に生息する。体長 11～18cm。大正 8 年食用として、北米の南東部から輸入され、それが野生化された。背面は黄緑色、緑色、緑褐色、小魚、海老、昆虫類を食す。5～9 月に水面に浮く寒天状卵殻、10,000～20,000 個。幼生(オタマジャクシ)の状態越冬する。アメリカザリガニはこのウシガエルの餌用として持ち込まれた。

ビオトープの案内用「名称プレート」を作成しています

名戸ヶ谷ビオトープの面積は約 4,400 m² (1,330 坪)、湿地や田んぼ、池などがあり、樹木もいろいろあります。会員の活動時の説明や、散歩される方への案内も兼ねて「名札」を付け始めました。略図も作成中です。市道より田んぼ側を「A ゾーン」木村邸前の湿地側を「B ゾーン」としていましたが分かり難いので良い名称がありましたら提案をお願いします。(小笠原 智)



昨年ホタルの幼虫を放流した水路



木村邸前の池



ザリガニ釣り場の池



ハンノキ



ネコヤナギ

月例活動状況のお知らせ

12月から2月までの会員の月例活動状況をお知らせします。

12月16日(土)

昨年、旧ホタルゾーンの水路を生育場所にしたところホタルの発光が確認されたので、ここを今後ホタル生育場所にすべく、会員12名が水路補修作業を行いました。女性会員はビオトープ周辺の清掃作業を行いました。



ホタルゾーンの整備作業風景



水路整備終了後の風景

1月20日(土)

年が明け最初の月例活動日は12名会員の参加がありました。Bゾーンのカエルの産卵池の整備、及びAゾーン水田の畦近くを掘り起こして、水路状にし、蛙の産卵場所に備えました。その他ミズアオイの保護作業を実施しました。



Bゾーン：蛙の産卵池の整備後の風景



Aゾーン：畦際のカエル産卵場所の整備後

2月17日(土)

今月は会員13名参加して、ニホンアカガエルの卵塊調査を実施しました。調査終了後は篠崎会長より詳しい説明と山村さんよりハンノキについて説明がありました。卵塊調査の結果、Aゾーン22個、Bゾーン18個確認できました。卵塊調査は引き続き実施されます。(藺田 廣満)



カエルの卵塊状況



卵塊調査後の会長のレクチャー風景

ビオトープと私

久保田 昇子

はじめまして。私、久保田昇子は 9 年前に入会。会費を払うのみの会員でした。ひよんな事から昨年総会に出席したことから毎月の活動に参加しております。山村さんの後について雑草取りから始まり、雑草の見わけもできませんでした。稲を育てる一連の作業では、稲刈り後の稲をワラで束ねて、7:3、3:7 に分けパイプの棚に天日干し。作業が終わって雲一つない真っ青な空の下でのお茶のおいしかった事。なんて幸せなこと。稲づくり体験をした子供さんもゲームと違うこの自然の感触を覚えていい思い出になったらと思いました。

40 数年前、この辺りにはホタルが舞い子供たちが網に入れて家に放ち、楽しんだことが懐かしいです。またホタルを乱舞させたいですね。このような健全な居場所を勧めてくれた友人に感謝です。晴れの日には外仕事を楽しみ、雨の日には雨を楽しむ。こんな日がもう少し続けられたらと思うこの頃です。よろしくお願いします。



今年の注連縄作り

今年も 12 月 23 日（土）10 時から約 1 時間半、新藁を使った注連縄作りを暖かい日差しの下で談笑しながら行いました。

新会員を含めて 7 名が参加され、熱心に行われました。これまで縄緬いの未経験者も最後には何とか見られるような輪飾りができました。

今年は作った輪飾りを小屋の入り口と各井戸ポンプに飾りました。
(影山 賢三)



春季行事予定

- 3月 ● 上旬 ニホンアカガエルの卵塊調査
- 17 日（土）3 月定例活動日（水田整地、水路と畔等の整備）
- 4月 ● 上旬 ホタル幼虫放流 ● 21 日（土）4 月定例活動日、水田整地、元肥散布
- 5月 ● 上旬 田植え ● 19 日（土）5 月定例活動、春の生きもの観察会
- 下旬 田の草取り

注) 詳細の日時と定例活動の具体的な作業内容等については事前に担当幹事からメールリングにてお知らせします。

名戸ヶ谷ビオトープに来てみませんか？

交通：柏駅東口より東武バス（5 番乗り場）「名戸ヶ谷行き」「新柏行き」で「名戸ヶ谷病院前」下車
面積：約 4,400 m² 湿性生物：57 種 生きもの：161 種（内、千葉県指定保護生物 26 種）

(2013 年、年間を通じて観察した生きものの種類)